

社長の経営哲学の構築にお役立ちする

税理士法人 優和

経営者への活きた言葉

TEL 03-3455-6666

FAX 03-3455-7777

経営者への活きた言葉

今が「本来の姿」(若手社員の意識) 守島 基博(学習院大学教授)

- 日本の人事は一昔前まで、育成を含めて企業主導であり、社員はシニアから若手までそれを受け入れるのが一般的だった。しかし、最近の若手社員は疑問があれば尋ねるし、納得しないと企業に不信感を抱き、積み重ねると退職につながることもある。状況は変わったが、私は今が「本来の姿」なのだと捉えている。
- 背景の一つは労働市場が流動化し、多くの社員にとって会社を去ることが選択肢となり、人口減少も重なり労働市場が逼迫したことだ。グループワークなどで意見を表明する場面が多く、若い世代は会社でもそれが当然と考える。自社が合わないと感じると他の会社の働き方を調べることも容易になり、就職と同時に転職サイトに登録するなど働く意識が変わっている。
- それだけに企業は新入社員・若手社員の教育の在り方を見つめ直す必要がある。例えば、多様な研修メニューを用意し、社員が自ら選べるようにすべきだ。自分で選びたいのは、経営が変わる中でスキルを身に付けて成長する意欲が強いからだ。人事部門は人材不足を背景に「つなぎ留める」発想が目立つが、今後はもっと「魅力を感じて活躍してもらう」ことにフォーカスすべきだ。

(参考:「日経ビジネス」2024年6月3日号)

経営者のための危機管理

今でも駅前でポケットティッシュを配布

- 雇用の流動化も進んでいる。これに「すぐ辞める新入社員」「研修期間中に入社拒否」といった問題も加わる。おそらく有効求人倍率といった既存の雇用関連統計では測り切れない次元で、人集めが難しくなっているのだろう。企業経営における環境が一変しつつある中で、雇用のあり方を急いで変えないと、多くの中小企業が立ち行かなくなるだろう。
- 他方で、今でも駅前では、「新装開店」のポケットティッシュを配っている若者を見かける。信じられないほどぜいたくな人の使い方だが、経営者の頭が切り替わっていないのであろう。今後そういう企業は早急に淘汰されていくはずだ。現状維持は脱落なり、という。間もなく金利も上昇するだろう。そうなればますます経営はスピード勝負となっていく。

(参考:「週刊東洋経済」2024年6月1日号)

ワンポイント経営アドバイス

社会は私利私欲では機能しない

佐藤 等(ドラッカー学会共同代表理事)

- 「機能する社会」の実現は、ドラッカーが生涯追い求めた最大のテーマでした。マネジメントは、そのための方法でした。つまり、ドラッカーが求めたものは、「いい社会」の実現であり、「いい会社・組織」はその手段にすぎないということです。それゆえドラッカーは、組織は社会の道具であると位置づけます。日本におけるドラッカーの分身と言われた上田淳生先生は、彼が取れ組んだ命題は「人間の幸せとは何か」であるといます。
- マネジメントは、いい社会、人間の幸せ実現の方法として発明されたものです。私利私欲で組織という道具を使おうとしても機能しないのは、そのためです。「社会というものは、一人ひとりの人間に対して『位置』と『役割』を与え、重要な社会権力が『正統性』をもたなければ機能しない』『ドラッカー・産業人の未来』

(参考:「致知」2024年8月号)

古典に学ぶ

人間関係は鏡のようなもの

- たとえば、部下や子どもに対して高飛車や物言いをしたり、お店の人に横柄な接し方をしたり…。自分が相手よりも優位な立場にある時、私たちはつい傲慢な態度をとってしまいます。
- しかし、そのような姿勢は、自分自身に戻ってきます。人間関係は鏡のようなもので、自分が相手を見下せば、必ずいつか自分も見下され、敬遠されるのです。

(参考:名取芳彦監修「空海 道を照らす言葉」:河出書房新社)